

IRの実現に向けて 市民説明会アンケート

緑区 結果

■ 概要

開催期間： 令和2年 2月11日（火・祝）

開催会場： 緑公会堂

参加者数： 328 人 （うち回答者数： 279 人）

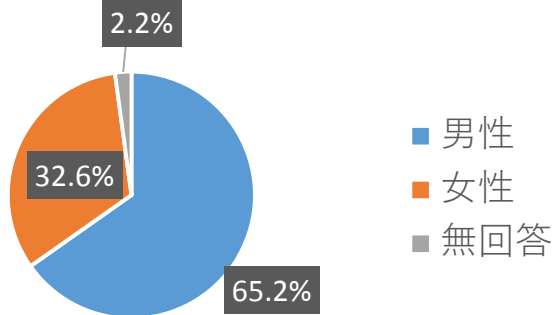
■ アンケート集計結果 緑区

- 1 あなたのことについてお尋ねします。

性別（○は1つ）

回答番号	項目	回答数	回答の割合
1	男性	182	65.2%
2	女性	91	32.6%
なし	無回答	6	2.2%
計		279	100.0%

性別

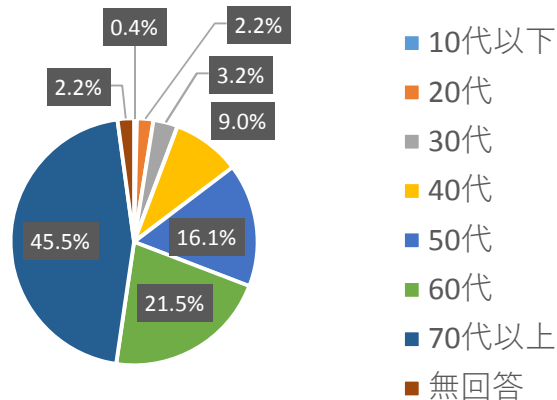


男性 約7割、女性 約3割と
なっています。

年齢（〇は1つ）

回答番号	項目	回答数	回答の割合
1	10代以下	1	0.4%
2	20代	6	2.2%
3	30代	9	3.2%
4	40代	25	9.0%
5	50代	45	16.1%
6	60代	60	21.5%
7	70代以上	127	45.5%
なし	無回答	6	2.2%
計		279	100.0%

年齢

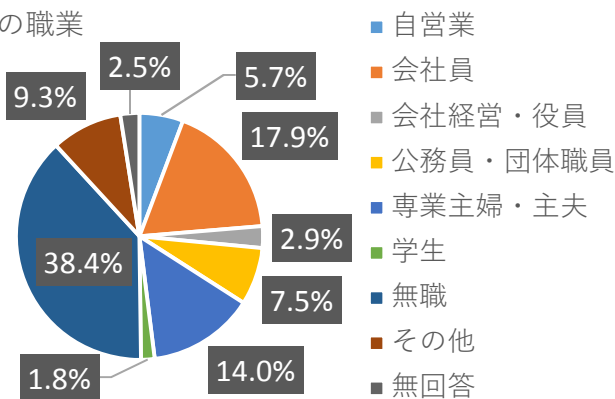


50代以上が約8割を占めています。

現在の職業（〇は1つ）

回答番号	項目	回答数	回答の割合
1	自営業	16	5.7%
2	会社員	50	17.9%
3	会社経営・役員	8	2.9%
4	公務員・団体職員	21	7.5%
5	専業主婦・主夫	39	14.0%
6	学生	5	1.8%
7	無職	107	38.4%
8	その他	26	9.3%
なし	無回答	7	2.5%
計		279	100.0%

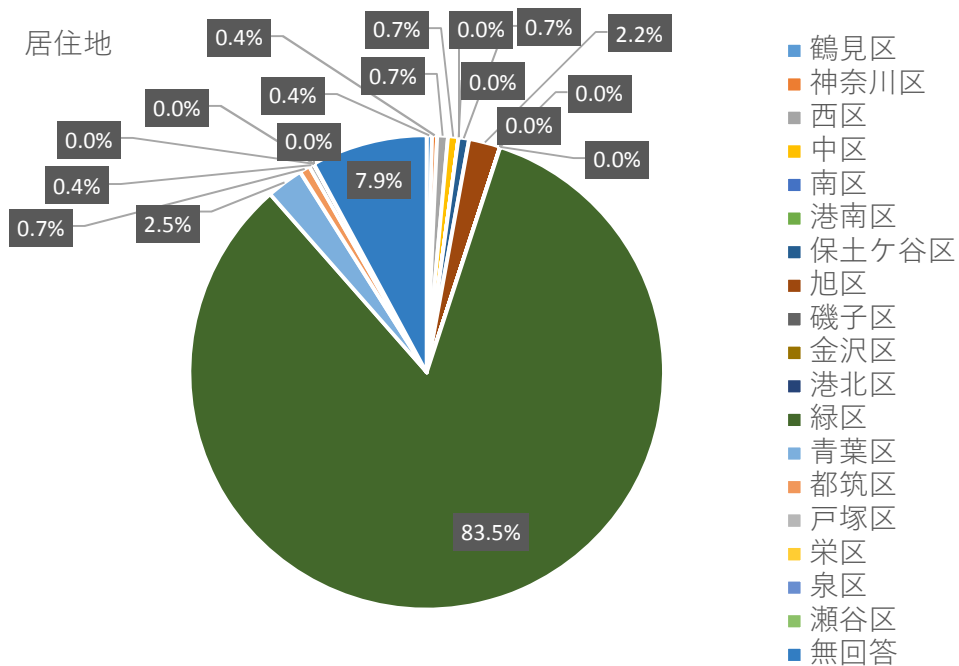
現在の職業



「無職」が最も多く、次いで「会社員」、「専業主婦・主夫」の順となっています。

居住地（〇は1つ）

回答番号	項目	回答数	回答の割合
1	鶴見区	1	0.4%
2	神奈川区	1	0.4%
3	西区	2	0.7%
4	中区	2	0.7%
5	南区	0	0.0%
6	港南区	0	0.0%
7	保土ヶ谷区	2	0.7%
8	旭区	6	2.2%
9	磯子区	0	0.0%
10	金沢区	0	0.0%
11	港北区	0	0.0%
12	緑区	233	83.5%
13	青葉区	7	2.5%
14	都筑区	2	0.7%
15	戸塚区	1	0.4%
16	栄区	0	0.0%
17	泉区	0	0.0%
18	瀬谷区	0	0.0%
なし	無回答	22	7.9%
計		279	100.0%

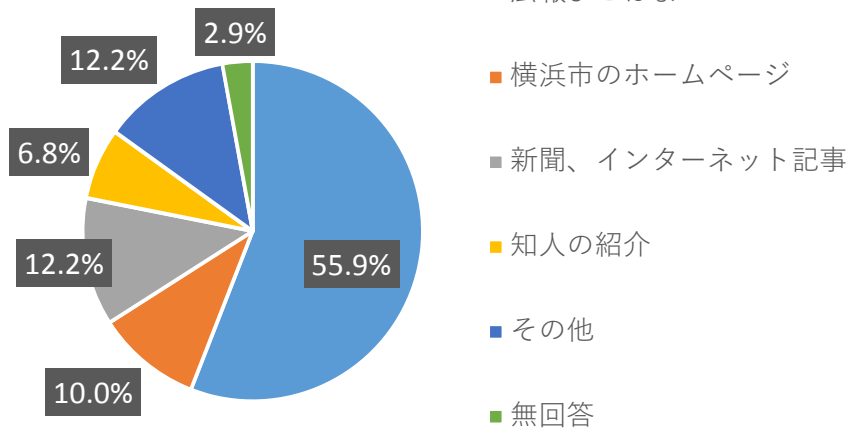


開催地の緑区が最も多くなっています。

本説明会は何で知りましたか（〇は1つ）

回答番号	項目	回答数	回答の割合
1	広報よこはま	156	55.9%
2	横浜市のホームページ	28	10.0%
3	新聞、インターネット記事	34	12.2%
4	知人の紹介	19	6.8%
5	その他	34	12.2%
なし	無回答	8	2.9%
計		279	100.0%

本説明会は何で知りましたか



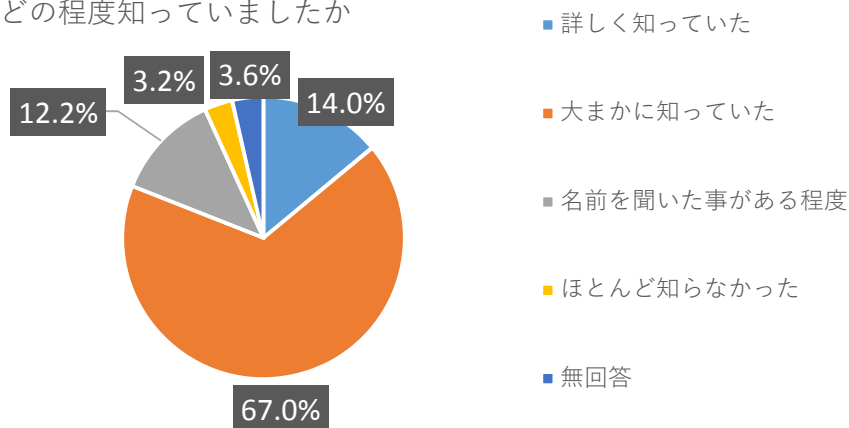
「広報よこはま」が情報源としてもっとも高くなっています。

2 IRの認識についてお尋ねします

(1) IR (統合型リゾート) については、どの程度知っていましたか (〇は1つ)

回答番号	項目	回答数	回答の割合
1	詳しく知っていた	39	14.0%
2	大まかに知っていた	187	67.0%
3	名前を聞いた事がある程度	34	12.2%
4	ほとんど知らなかった	9	3.2%
5	無回答	10	3.6%
計		279	100.0%

IR (統合型リゾート) については、
どの程度知っていましたか

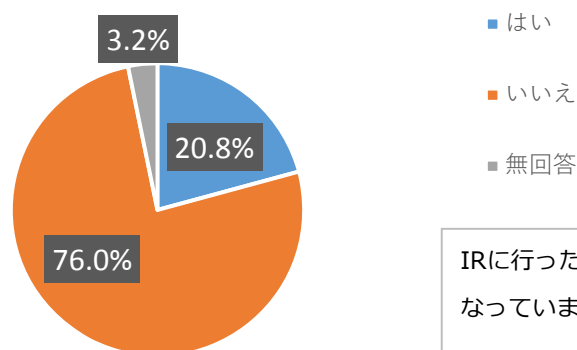


「詳しく知っていた」、「大まかに知っていた」が合わせて約8割となっています。

(2) IRに行ったことがありましたか (〇は1つ)

回答番号	項目	回答数	回答の割合
1	はい	58	20.8%
2	いいえ	212	76.0%
3	無回答	9	3.2%
計		279	100.0%

IRに行ったことがありましたか



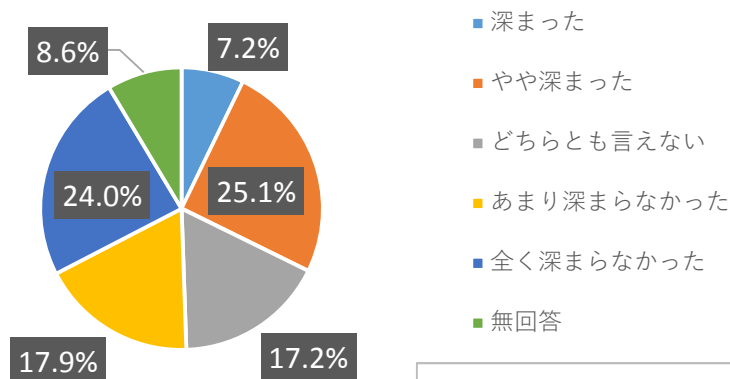
IRに行ったことがある方は約2割となっています。

3 本日の説明を聞いた後の状況についてお尋ねします

(1) 今回の説明会を聞いて、IRへの理解がどのように深まりましたか (○は1つ)

回答番号	項目	回答数	回答の割合
1	深まった	20	7.2%
2	やや深まった	70	25.1%
3	どちらとも言えない	48	17.2%
4	あまり深まらなかった	50	17.9%
5	全く深まらなかった	67	24.0%
なし	無回答	24	8.6%
計		279	100.0%

今回の説明会を聞いて、
IRへの理解がどのように深まりましたか



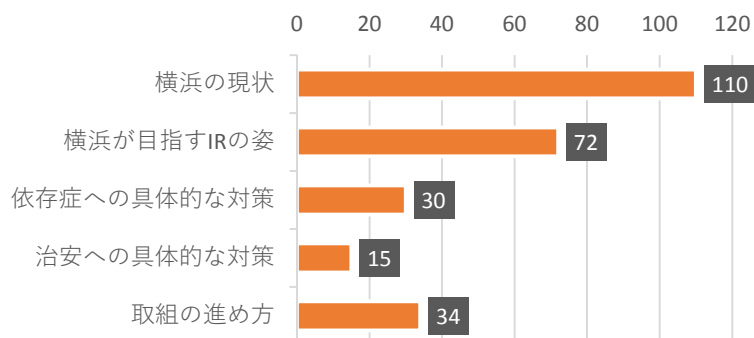
「深まった」、「やや深まった」合わせて約3割となっています。

(2) 理解を深めることができた内容は何ですか (○は3つまで)

有効回答者数： 278

回答番号	項目	回答数
1	横浜の現状	110
2	横浜が目指すIRの姿	72
3	依存症への具体的な対策	30
4	治安への具体的な対策	15
5	取組の進め方	34
6	該当なし	79

理解を深めることができた内容は何ですか



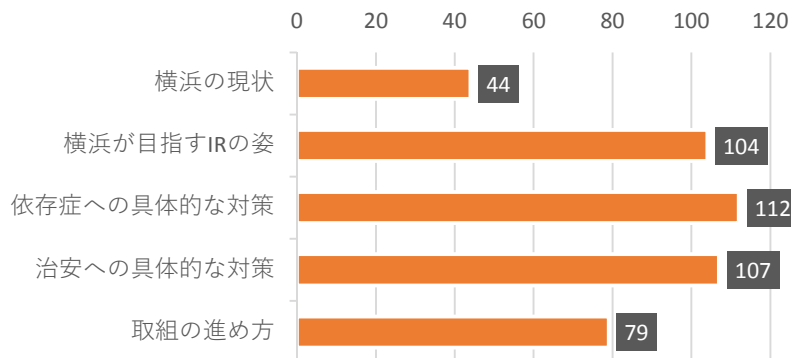
「横浜の現状」、「横浜が目指すIRの姿」の順となっています。

(3) 分かりづらかった内容は何ですか（〇は3つまで）

有効回答数： 278

回答番号	項目	回答数
1	横浜の現状	44
2	横浜が目指すIRの姿	104
3	依存症への具体的な対策	112
4	治安への具体的な対策	107
5	取組の進め方	79
6	該当なし	36

分かりづらかった内容は何ですか



「依存症への具体的な対策」、「治安への具体的な対策」、「横浜が目指すIRの姿」の順となっています。

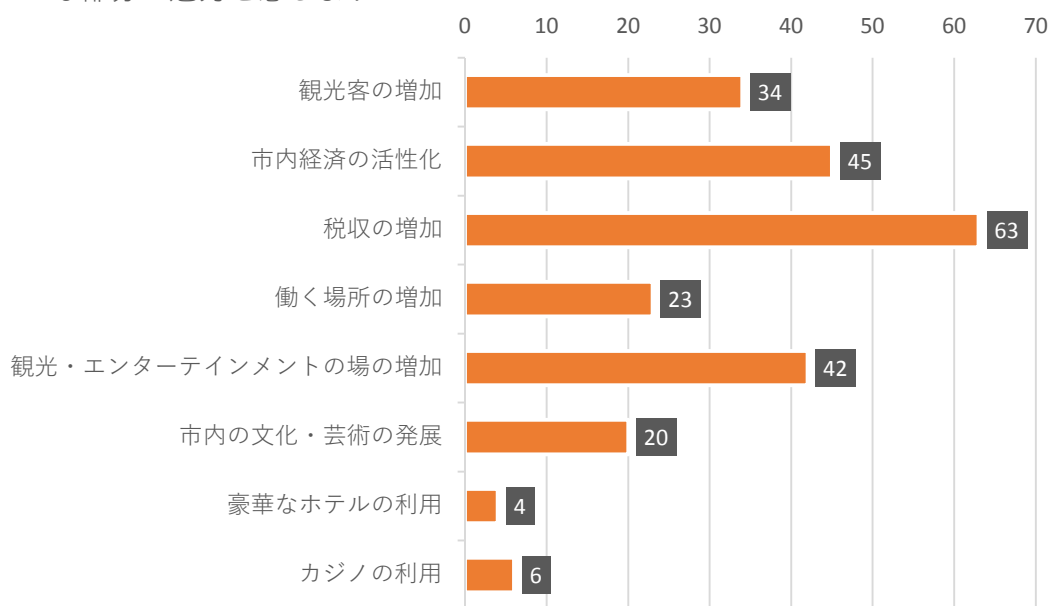
(4) あなたや、家族・友人など身近な人たちにとって、
IRはどのような部分に魅力を感じますか（〇は3つまで）

有効回答数： 278

回答番号	項目	回答数
1	観光客の増加	34
2	市内経済の活性化	45
3	税収の増加	63
4	働く場所の増加	23
5	観光・エンターテインメントの場の増加	42
6	市内の文化・芸術の発展	20
7	豪華なホテルの利用	4
8	カジノの利用	6
9	その他	19
10	該当なし	114

※その他 19件の内容については、別紙を参照してください。

あなたや、家族・友人など身近な人たちにとって、IRはどのような部分に魅力を感じますか



「税収の増加」、「市内経済の活性化」、「観光・エンターテインメントの場の増加」の順となっています。

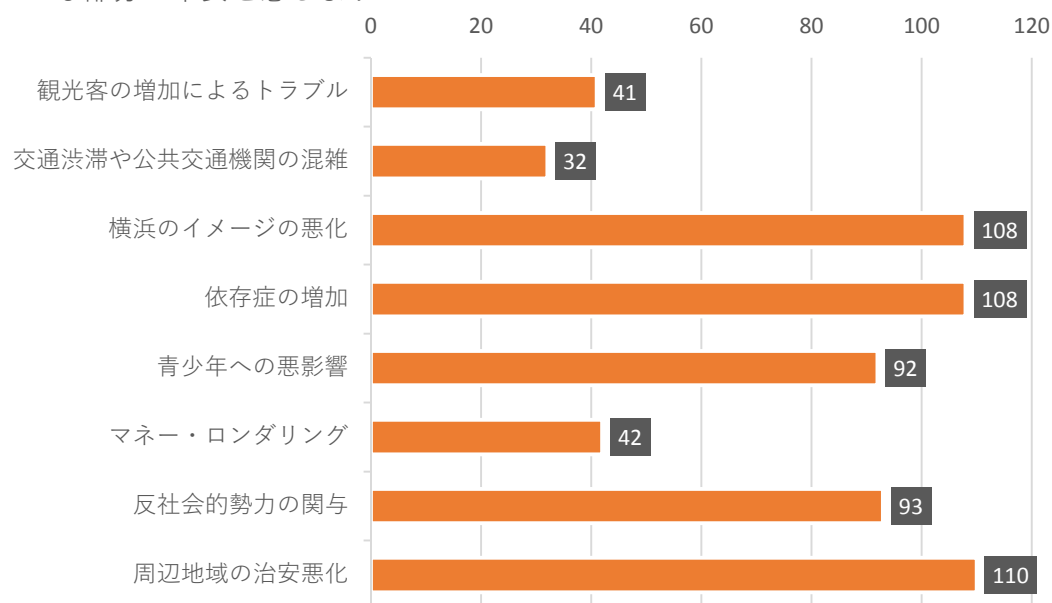
(5) あなたや、家族・友人など身近な人たちにとって、
IRはどのような部分に不安を感じますか（〇は3つまで）

有効回答数： 265

回答番号	項目	回答数
1	観光客の増加によるトラブル	41
2	交通渋滞や公共交通機関の混雑	32
3	横浜のイメージの悪化	108
4	依存症の増加	108
5	青少年への悪影響	92
6	マナー・ロンダリング	42
7	反社会的勢力の関与	93
8	周辺地域の治安悪化	110
9	その他	35
10	該当なし	6

※その他 35件の内容については、別紙を参照してください。

あなたや、家族・友人など身近な人たちにとって、IRはどのような部分に不安を感じますか



「周辺地域の治安悪化」、「横浜のイメージの悪化」・「依存症の増加」（同数）の順となっています。

3- (4) あなたや、家族・友人など身近な人たちにとって、IRはどのような部分に魅力を感じますか。	
9 その他	
感じない	
魅力を感じない	
IRの中に3%のカジノを入れるのが	
カジノをやるなら魅力ナシ	
まだ具体的イメージもてず	
魅力はない	
金もうけの為に横浜を汚そうとしているように思える。	
不安ばかり、魅力は一つもない	
パチンコのとうた	
上記に関連するメリットは多少あるだろうが、デメリットの方が大であり、魅力を感じない	
IRでなくとも良いのではないか	
百害あって一利なし	
全く感じない	
税収の改善	
カジノのないIR	
特に魅力的なところはない	
感じない	
国際展示場	
魅力無し	

3- (5) あなたや、家族・友人など身近な人たちにとって、IRはどのような部分に不安を感じますか	9 その他
横浜の破壊	
カジノが与える悪影響	
各地域への影響は	
市民の意見が反映されない	
IRの必要性	
検疫の問題。経済効果について楽観的すぎる気がする。	
収益がなかった場合40年間の実施はどうなるのか。	
カジノの収入はほんとか？	
カジノの利用	
バクチの負けに依存する横浜市の態勢、姿勢	
観光客による収益ばかりに目を向けていること	
まだ具体的イメージもせず	
国外から持ち込まれる感染症、ヒアリなど害虫の定着など。	
IRは不要	
景色が悪くなる	
カジノはギャンブル	
港湾事業者の関与	
市民の所得格差拡大	
現政府下で反社の圧別もつかない元でカジノ推進はありえない	
バクチからの収入で政治をすること	
全て不安	
モラルの低下、民主主義の破壊	
他商業地域への影響	
上手く行かなかった時の横浜の税収	
成功しなかった時の不安	
まわりの商店などの景気悪化	
市民に税負担がくるのではないか	
反対派のマナー	
カジノのマイナス面	
IRの失敗一責任は誰がとるのか。	
津波、洪水の対策。それと電源確保	
カジノが問題	
施設の不良債権化	
政治家の癒着	
災害、地震の時、電力の不足	

3- (6) その他ご意見があればご記入ください。
観光面のメリットのみの説明で説得力がない説明である。事業規模（特に市、（国・県）の負担）と民間事業者の役割分担があまりに不明確で判断できない。他の都市との比較数字も説得力のない都合の良いものを感じる。
カジノ贈収賄事件、野党のカジノ廃止法案提出等の状況の中で、いったん立ち止まって再検討すべき。港運協会が提案しているカジノなし施設についても検討対象に入れて…。
やはり、カジノを含めたIRは大手をふって良いこととの説明をつけるのはおかしい。やむを得ない。せいぜい必要悪の立場でないと納得できない（得られない）
平均的市民が決して利用することのない施設であることを改めて強く感じた。
先ずIRありきのアリの説明会は何回あっても理解できない。
IRで市民が不幸にならないと良いですね。
カジノはなくてもIRとやらは成り立つのでは？国際的な会議場やホテルだけでも充分ではないか？なぜカジノありきなのか説明がない。カジノがなければ成り立たないIRは税金のムダです。
子育て中ですが、子育て・教育に使われる税金がカジノで得られたものになるのは受け入れ難いです。「子供にはギャンブルは教えたくないけれど、ギャンブルで得られたお金で育てる」というのはおかしいと思う。市外への転出も検討しています。市長が横浜市の将来を考えているのは伝わってきましたが、カジノ以外にも方法はあるのではないかと思う。
市の職員も賛成しているのか。身の丈に合った市運営をすればよいだけ。IRをやらない場合の市政策も示すべきでは。"IRへの立候補ありき"で進めてほしくない。
カジノは市民を豊かにしない。バクチで教育、福祉に使うこんな市は後々誰も住まなくなる。
横浜市はIRを誘致しなくても、充分活性化できていると考える。本当に必要かどうかは市民に聴くべき、住民投票を実施して欲しい。
町内会単独での説明が必要でしょう。
観光に力を入れるにしても、部分的にならないように
カジノがどれだけ悪しきものであるのかがよく分かった。今日の説明は不十分！最初にカジノありきの説明に徹していた。もっと健全な町、横浜に政策転換する道を考えていただきたい。カジノによって横浜市民の誇りを汚されたくありません！
理想通りの税収入が得られるか。
なぜカジノが注目されるか、よくよく考えるべきである。カジノに対する動機、機会がある限り、依存症は完全に防げない。
・カジノ設置は、横浜市だけでなく日本の将来を大きく左右します。市長の独断ではなく、みんなで議論してきめるべき事柄だと考えます。市長は、なぜみんなの理解が得られなくてもカジノを作るのですか。議会はみんなの議論を深めるために何をしていますか。・企業は営利の為に人々を誘惑します。依存症が増えるのを分かっている、カジノを作るのはおかしいと思いませんか。・19時開始の為、仕事帰りでも参加できてよかった。
林市長は40年後（企業が土地を借りることができる年数ときいている）生存していない。そのときの横浜の姿を想像できるのだろうか。ニューグランドで食事をしたその場所からみえるのがカジノを含むIR地区と思ったとき、情けなさが残った。
これほどのリスクがあるのに、なぜカジノが必要なのか？経済効果イコールカジノではあまりにも短絡すぎる。
IRが横浜の活性化よりマイナスになった場合（マイナスプラスかの判断も含めて）誰がどう判断するのか。またIRはどうやってやめるのか説明してください。
やはり住民投票は必要です
カジノは入れないこと。それなら考えましょう。
・質問に対する回答が、市のHPにのっていることを確認します。・本日の回答は全く理解出来ない。
カジノ無しのIRを検討するなら、魅力を感じる市民は多いと思います。

3- (6) その他ご意見があればご記入ください。
カジノなしの総合リゾートは考えないのでしょうか？（3%だからいらぬのでは…）カジノに関してアメリカ→日本→横浜の流れを感じます。
IRによって依存症への総合的な取り組みが強化されたことはよかったと思います。横浜の未来のための政策はIRの実現だけではないと思いますが、すべてが横浜をよくしていこうとする取り組みだと思います。住民のことを優先して思って、これからも頑張っていたきたいと思います。
説明が不十分だからで、判らないです。
IRカジノは推進しないで欲しい。
説明会＝理解したではありません。
市民の声を聞け！誰の声で推進するのか。利権の温床、次は誰がタイホされるか？
・すべて説明が根拠のない期待です。今時オペラやミュージカルに人がそれほど集まるものでしょうか。ショッピングモールもそれぞれ悪戦苦闘しています。日本の魅力はこんなものではないと思う。・週3回、1か月に10回も入場したとすればそれは立派な依存症。6000円は安すぎる。モデルにしているシンガポールは12000円。しかもカジノのもうけで全施設の赤字をうめようというのはあまりにおかしな考え。つまり市民の不幸で市の財政を立て直そうというのか。・今のリゾートのあり方や未来に望まれるリゾートはより自然の中での自ら活動ができる体験型のものではないか。市の「日本型IR」は全く魅力を感じない。IR以外に横浜の産業振興はないのか。港湾の発展はもうあきらめたのだろうか。中華街や山手になぜ人が集まるのか。市長は考えたことがあるのか。
質問について大切な部分はきちんと答えられていない。説明会をやったという既成事実のみだ。シンガポールを頭に置いているようだが、リスクについての話がない。韓国など、負の部分もあるはずだが、何も触れられていないのはどうしてか。これから、感染症のように考えもつかないリスクが出てくると思われる。カジノについては外国資本が主であるため、収益がなかった分はどうなるのか。負の遺産として市民納税者へ結果として押し付けてくるのではないか。バラ色の話ばかりはありえないと思う。
・IRの対策のみが強調されすぎ。・事業者は国内にすべき。・赤字になったらどうするのか不明・財政人口減少は過去からわかっている。何故カジノIRが疑問。
市は具体的な説明を重ねていくと話をしているが、具体的な説明を聞く以前に市が推進しているようなイメージがあり、納得できない。当たり前であるが少子高齢化対策などIRよりも急いで進めるべき案件は多いのではと思います。なぜ市の職員さんはハマのついた青いIDをつけていないのですか？トラブル対策でしょうか？また次回の説明もしてほしい。
市長の視点は商工会議所と思惑を同じくするもので、地方税収が少なく市民サービスが低調でも健康的で楽しい横浜を望む多くの市民の思いをふみにじるものと思います。
一方でギャンブル依存症や防犯をいいながら、何をもち健全なカジノ収益などという言葉を使用されるか、理解に苦しむ。
カジノと言うな！賭博場と言え！日本語使え！江戸時代から賭博は重罪！アンケートにカジノ賛成・反対の問がない！
・プラス面は協調されていたが、マイナス面に対する具体的な策が掘り下げた説明が全くなされていない印象。・住民投票で賛否を問うべき重要な問題（選挙時、白紙表明からの突然の転換は？変心は？）
・市民のすべての賭博施設（パチンコ、場外馬券所等）を撤去して、カジノのみにするのであれば賛成です。・説明会のアンケートはすべて開示して下さい。・大阪に観光客が多いのは、USJもあるからです。世界的なテーマパークを作った方がさらに観光客も歳入も増えると思います。
いかに海外から利益を呼び込むか。具体的にどのように考えているのか聞きたかった。
市民の多数が反対しているIRは反対です。子供たちのために税金を使って下さい。
市長の説明はまるでカジノ会社の社長から聞かされているように感じた。一方、劇場整備（オペラハウス）に関しては「全部研究して…一番の問題は運営が難しい事」と記者会見で述べている。このようにカジノについても市長自身の眼や頭で考えたことを聞きたいと思った。

3- (6) その他ご意見があればご記入ください。
・ 税収減はIR以外の施策を検討する・ 説明資料にあるマイナス面をプラスに向けて政策として考える・ 横浜、神戸は明治以来日本の中で独自の風景を醸してきており、IRはなじまない。
カジノを除いたハーバーリゾート構想の推進をお願いしたい。真の横浜の未来につながるように！
カジノ説明会で既出の質問をオープンにせず、毎回新しい説明会の開催では質問が重複し時間のムダです。Webサイトに質問と解答をアップして下さい。
私は子供に関わる仕事をずっとしてきています。今の子供たちを見ていると本当に気の毒だと思ふことが多すぎます。もっと子供たちのことを考えて今横浜市に住んでいる子供たちが安心して遊べる場所を作ってほしい。カジノなんか要りません。長期的な視点で横浜市の未来を考えてください。お願いします。
必要悪かなと思います。
IR導入に至る経過の説明が不十分。市民の声をふまえてない。IR導入にともなう問題点の検討が不十分で、導入を前提にした対処的対応におわっている。
IR以外考えられないのか…？もう少し検討の余地があるのではないかと…？
賛成、反対どちらでもない。しかし反対意見には誠実に対応する必要有り。個人的にはIRよりも企業誘致にもっと力を入れて、市の財政を維持できないかと思う。外国人に頼らなくても横浜ブランドは魅力あるものであり、理解を得られると思う。
IRが設立されたあかつきにはその後もすべてバラ色、良いことづくめ、当然リスク面もあると思われませんが、全く触れられていない点に逆に不信感もたげます。又、この説明会で質疑応答時間が短すぎます。説明後増々、カジノ収益なしではなりたないIRは反対の意思が強くなりました。
・ これ以上、コストをかけないで！マイナス面もきちんと示すべき。・ 自民、公明議員は責任とれるのか？40年継続するのが前提だそう。上手く行くわけなし。・ 今日の座席を勝手に決めないで！なぜ？
林市長からの説明により横浜市へのIRへの関心がかなり深まったが、市長の説明の様に実行して頂きたい。
歴史と文化のある横浜は自慢です。その横浜にカジノは作ってほしくはありません。市長は「白紙」と言っていたのに…市民の意見に反して市民の声も聞くことなく一方的に決めるのは許せません。
IRは賛成だが、カジノ抜きというのは何故検討しないのか。運営が民主的でないですね。
税収増の施策はIR以外を検討すべき。また同時に費用削減施策の検討・実施により、IRに頼らない行政運営を検討するのがあるべき姿。またIRを実施したいのなら、その是非を市民の判断に委ねるべきだ。
賛成するもしないもやり方（マネジメント）次第。賛成。
このIR説明会の質問書の質問例の紙を見ながら、書いている人が横にいる。完全に中の人間ではないですか？スーツをきて、一生懸命みながうつつしてたくさん書いていますよ。こんな感じの人があちらこちらに座っていますが、いけない事なのではないでしょうか？完全にいやな気持ちです。説明会は市民のためのものではないのですか？ずるすぎます。横浜をこのままの姿で守っていきたい。市長さん、好きだったのに残念。次は入れない！
薬物売人が集まる。日本の暴力団は安全、中国やアメリカ、中南米のマフィアがくる対策は？
カジノができた場合、市長は個人として月に何回程度利用するのか。1回の予算はどのくらいか（金額）教えてください。
賭博のあがりによる税収アップは反対。
市民のことに耳を傾けてもらえることを祈っています。
少子高齢化の対策は必要であるが、治安対策、依存症対策等必要のない対策を考えなさい。
市長の「いいとこどり」の説明は多々あり一面的であると思う。違った角度から見た説明がなくては賛成しかねる。無駄な市税の浪費にならぬ様！中止は今決意する時です。
IRには反対します。横浜にカジノはいりません。市長の説明は「成功する。もうかる」ばかり。現実味がありません。うまくいかない場合もあるはずですよ。
市長は横浜の地理的な事は1つもいわない。大阪や名古屋は大東京から離れているから観光客もくる。横浜は東京のすぐ近くのだから、宿泊客も少なくてもあたりまえだ。横浜にはパシフィック横浜もあり、TDLも近い。カジノをやりたいが為のIRリゾートだといっているのがみえみえだ。

3- (6) その他ご意見があればご記入ください。
ランドマークを歩いても楽しくないし、魅力がない。文化、芸術の町横浜になればよいと思うが、IRはハデさが目立って、期待できない。賭博場の胴元で稼いだ金を市民に配るのはやめてほしい。
カジノは絶対にだめ。約束が違う。
横浜市が“20才を超えて、親の許可が出て、やっと近づける場所”というイメージにはなって欲しくはない。
金銭感覚をマヒさせるのが、カジノです。依存症の一般市民が増加するのは目に見えています。良いことばかりPRしていますが、市民を不幸にするIR企画は絶対に実現させてはいけません。
横浜市に期待しているものはIRより、より横浜らしいものがあるのではないかと。市議会で活発な議論を求めたい。市長の求めたい発展は理解できたが、カジノの不安も深まった。
全体の3%は何も関係はない！その3%で結局は全体を運営するだけの規模を有するので、3%以内だから良いという事ではない。横浜にカジノは不用！
カジノ反対。横浜にカジノはふさわしくない。横浜のイメージが下がる。カジノの収益で福祉？ 税収増？ 次回選挙には入れません！
(横浜がめざすIR姿3)の説明の時、市長は市の予算を使って建物などを造ると言ったが、会場からの質問者の答えで副市長は、市の予算は使わない旨の発言であった。どちらが本当なのか？説明してほしい。また、どこかで訂正してほしい。
年金者には何の効果もなく、施設費の収出がもったいない気がする。
市の財政の向上は、本当にIR(カジノを含む)に頼らなければならないのか。疑問です。
僕ら若者はカジノ賛成派多いんで、横浜市頑張って下さい。民主主義をはきちがえた老人に負けないでください。
IRのメリット・デメリットについて信頼を置ける調査がなされたとは思えません。
誘致につき、住民投票すべき。(理由：市民にとり突然の提案であるから)又は再市長選をすべき。
IR反対です！
年金生活なのにホテル・レストラン利用出来る訳ない。多くの高齢者はみなとみらいすら行く余裕ない。ターゲットはお金持ちか外国人だろうが将来性ない。市の為にならない。
外国カジノでギャンブル依存症に関する具体的なデータがありますか。
なぜ横浜市がIRに前のめりなのか、疑問です。美しい横浜のイメージが経済効果だけでくずされて良いのか。横浜を愛する一市民としてカジノだけは絶対反対です。
住民市民に賛否を問わないのか。
ラスベガスに行ったが、2回行こうとは思わない。施設はたしかに目を見張るスバラシイ物だったが、虚しいにせもの的なものばかり。メインストリートを渡るとほこり、ゴミ、昼から若者がたむろしていた。
・斜陽産業であるカジノを日本が受け入れる必要は全くない。・国内の財産を、外資が吸い上げる。日本が貧しくなる。
カジノ誘致不要です。今すぐ撤回してください。7年も市長やってそれ？ひどいよ、無能。カジノ誘致するかしないかを、民意をきいてくれ。「やってくれ」なんて市民はたのんでないよ！
カジノ建設反対です。政治的発言、行動を普段の生活の中では殆どしない女性たち(50代~90代)は、カジノ反対の署名はする、したいと声をあげています。こんなに市民が反対しているのに、何故やめないのか。よほど国からの圧力があるのか、という意見が多いです。
・質疑応答にて重複した質問が多く、できるだけ多くの意見にとしていましたが、「先ほども申しましたが」「重複しますが」というのが多く残念だった。・ヤジ等は退場いただきたい
まさか市長がIRを誘致を言い出すとは思っていなかった。裏切られた感じ、IRで稼いだお金で市民の生活が良くなるとは思わない。特に未来の子供たちの為に夢のある横浜市にして欲しい。今回、市長の話聞いて増々反対、がっかりしました。
カジノの収益に依存するわけだから、ギャンブルで巻き上げて市税が増えても市民の生活は良くならぬ。外国人観光客が増える保証なく。赤字になった場合はどうなる。

3- (6) その他ご意見があればご記入ください。
IR賛成です。早く進めて欲しいです。
この度の市長の施策は大いに賛成いたします。どしどし進めてください。どんな事柄にも反対する者はおります。そんな者の屁理屈は適当にあしらって下さい。今後の市長及び市役所の取り組みに期待しております。ありがとうございました。草々
東京に近いこともあり、日帰り観光客が多かったり、インバウンドの増加が少ないのは、納得がいきます。無理に宿泊客を増やす必要があるのか疑問です。市の現状もあり、税収は必要だと思いますが、もっと企業誘致とか別の方法に力をいれたらどうでしょうか。横浜をシンガポールのようにする必要があるのか。カジノは、それを運営している会社が儲かるのではありませんか？横浜の魅力はシンガポールやマカオ、ラスベガスとは全然違う。市長はケバケバしくならないというが、やはり派手でチャラチャラした感じになるでしょう。市民はそれを望んでいません。
失敗した場合に責任を取らない。Y150のような事業が目立ちます。責任が取れないことは止めて下さい。
資料は恣意的に説明されすぎる。身近のどの世論調査でも反対が圧倒的に多い、財界の意見のみ聞き、市民・住民の反対を無視することは許されない。
・説明は、現状より課題と言う形でまとめた方が良かったと思う。・全体にPPT（資料）のできが良くなかったと感じる。わかりにくい。・MICE、SDGsなど一般には不明な言葉の説明がなかった。・書きにくい。
30年後を見据えた横浜がもうすぐにでもスタートしそうな話となっている。市長の再選でカジノ法案はNO!とやってらっしゃったのは私の聞き間違えでしょうか。
いい事ばかり言ってマイナス面を全く言わなかった。何のための説明会かわからない。
お金のかけられないかけ事にしなさい。金をかけて、その金を得ようとする市の考え方は間違い。バクチで市の金をなんとかしようとするのは不純だ。
なぜカジノなのか。人の不幸で税収アップとは情けない。もっとまっとうなやり方が考えられないのは市長の資格はないと思う。
市長選
もっと市民の理解を深めて欲しい。良い面もあるがリスクを考えて推進してほしい。金額面で具体的な数字を示さないと市民の理解は得られない。
市長は質問に的確な回答ができない！どうしても同じことの繰り返しでこれでは市民は納得できない。公約違反、お辞めになられた方が良くと思います。
他の都市との競争ではなく、横浜市民と行政が協働しながら良い地域の生活や豊かさを作り上げることの方が、未来につながると思う。
カジノ大反対です。市民投票か、出直し市長選で、市民の意見を聞いてから、IRは市議会にはかかるべきでした。市長選で白紙で当選したのに、市長として正当性がない。
わずか3%というカジノをなぜ外せないのか。外すことでIRがなりたないならその事をはっきりというべきではないか。カジノこそIRの中心だという事を隠している。カジノはなぜ高利益を生むのか。それはカジノに高額な失費をするカジノ客が多数いるからであり、カジノは何も生産しない。やめるべきである。
今日の説明を”丁寧な説明”と公言する市長の姿勢に反感すらおぼえる。何故、真剣なQ&Aを行わないのか？
カジノのイメージが悪すぎる。床面積を3%と説明することもセコすぎる。
横浜市としてはIRありきの説明会なのではないでしょうか？
・住民投票をやるべきだ。・アメリカのIR企業と、日本の一部の企業が儲かるだけだ。結局ギャンブルで負けた人々のお金を市に「テラ銭」として入ることになる。・各区の説明会をすることで、承認されたと思ってもらっては困る。・花博はやめて、上瀬谷跡地に子供から大人まで楽しめるテーマパークを推進した方が良い。
依存症や周辺の治安悪化の対策はとっているとの事だが、外国に比べ規則がゆるい。シンガポールの様にタバコを吸っても、捕まるような厳しさにしなければ住民の不安は取れないのではないかと。IRは反対です！
横浜の本来の魅力をアピールして、経済発展につなげることを検討することが重要だと思います。総合型リゾートを造る際に、カジノ抜きで考えることも1つの方法かと思います。

3- (6) その他ご意見があればご記入ください。
横浜にIRはいりません。
選挙の時にあざみ野でカジノのことを聞いたら、「白紙です」「やりません」と言って、当選した人が金がない金がない、だからカジノが必要だ。と言われても全てむなしく響きます。はじめにカジノありきでなんだか悲しくなります。私とは全く縁のないところですよ。この格差社会の世界でカジノはますますその差を大きくする所。それを正当化するために市長は何回も繰り返してきた言葉や数字を何の思いもなくタラタラと話続けています。弱い人のお金を巻き上げて、市民の生活向上に？カジノにきた外国人は泊りがけでゲームするから必要だって…。
生産拠点（工場等）発展、知的研究所の誘致等に投資する。東京、大阪との比較は無意味。
横浜が目指すIRの姿は社会的効果、数字のマジックでは
全体的にわかりにくい。
会場からの不規則発言を止めるなど、ルール通り進めるべき。
生産ではなく、お金の取り合い（カジノ）で市の財政をつくろうとする考え方は基本的に間違っている。カジノなしのIRを考えるべき。
地域の皆さんはIR誘致反対が圧倒的に多い。市長は白紙撤回の検討をお願いいたします。
本当に今IRの時代なのか？文化芸術の街になってほしい。ほかに方法はないのか？家にお金がなければ身に合った生活をするのが私の考えです。
財政的にマイナス面ばかり強調しすぎ。ならば市債や基金についても説明すべき。市長は官邸に忖度するのではなく、市民に忖度すべき。市長の説明は政府の代弁ですね。
横浜市民にIR誘致の是非を選挙で問うべし！
市長再選時に政策「横浜が目指すIRの姿」を何故提示しなかったかの説明が一切なかったことは残念でした。
・IRより中学校の給食を早く実施してください。・カジノは賭博です。
今回のIRは反対です。外の方法を考えるべきです。外国の悪い例があり、対応案不足である。
質疑応答の時間があまりに足りない。もっと時間を増やすべきである。司会者の進行が雑だった。
すべて答えになっていませんでした。言いたいことだけ言った「説明会」
市民の声を聞くと言いながら、その時間はごく短いもので、一方的な説明会だと感じました。
これらのアンケート結果はいつ公表（開示）されるのでしょうか
白紙から一転推進と転じたのは市民への裏切りだ。いったんやめて民意を問うべきである。
市長の「よくなる」という説明には根拠がありませんでした。海外のいいことだけ言って問題は言わない。依存症対策はカジノは関係ないのでは（現在のギャンブルそのものに問題があるのだし）質疑応答の段階で急に警備員を会場内に配置したのも不信をもった。
横浜ならではのIRという物がまったく見えない。これで他都市に勝てるとは思えないのでしっかりして頂きたい。
宿泊観光客が少ないのは、宿泊してまで見る所が少ないこと。カジノができて変わらないと思う。それよりも、中小市街地の充実をはかるべき。
市長は自分の意見がない人だと思った。言わされてる感があった。市長への不信感しか感じなかった。残念。
・横浜港町のイメージが一変してしまう。・治安の悪化、インフラの混乱が極めて心配。・IRだのみの考案は極めて不安定。我が国には向いてない。国政に不信感が強い。
リスクー依存症の対策が具体的に説明されていないことに責任のない対策だと思います！カジノに頼らなければ解決（経済）はないとは思いません。
カジノ無しでのIRづくりと民間活力UPでの税収UPを行うべきです。
次の時代は個人の利益のみを求める行為ではなく、社会的利益を求めることが収益につながる事業が求められる時代となるだろう。その時に、横浜に未来はあるのか。心の底からの思いが大切になるのでは。
市民の声を聞いてからの判断をされていないように思います。

3- (6) その他ご意見があればご記入ください。

カジノの導入は絶対反対です。お金が集まるところには犯罪も多発します（贈収賄、反社会的勢力の関与）。売春施設、客引き等も付随し、横浜のイメージダウンにつながり、女性や子供たちは近寄らない地域になります。様々なリスク管理を行っても、IRの経営が立ちいかなくなった時、ゴーストタウン化したり市も手を引いて乱開発化し、景観や環境を損ねるようなことになれば、横浜を訪れる人も減り、住みにくい市となります。

水源に毒とか入れられたら怖いですね。上水道や下水道の整備が間に合うのですか？インフラ整備は間に合うのですか？どれだけ電気やガスのエネルギーを使うのか想定してほしい。原子力発電に頼らない方法（風力等も併用）万一落ちたら大パニックです（ブラックアウト）市民への影響が大きくて計り知れない。かなり危険に思います。電気、ガスのエネルギーの管理方法、市として事業者任せにしないことです。

我が家は、私は反対、夫は賛成、高校・大学の息子たちはよくわからないという意見です。もしIR実現する場合は、現在高校生以上の若者への依存症対策も必ずしていただきたいこと。万が一依存症になってしまった時の相談先、病院なども横浜にあって欲しいと思っています。夫は、大きな展示場が欲しいと、仕事をする上で思っているようです。IRに限らず、他地域の知人に誇れる町、横浜であり続けて欲しいと思います。花火の復活、前のオリンピック、サッカー、ラグビーW杯の品を集めたスポーツミュージアム、日本のシリコンバレーと言われるような地域など、もっと市民のアイデアを集めて欲しいです。

進め方は市民の意見を聞かない一方的なもの。根拠とする資料も意図は操作したミスリード。市長の方針を正当化するものではない。

新たな手法の導入は不可欠。メリットデメリットあるのはどのような手法でも当然ある。IRはメリットが大きい。是非進めて欲しい。

・横浜市都市計画が国の動向に大きく左右されるものはダメです。特に収入減がヒモ付けになると自治体としての独立性が失われます。・市長は手順を正しく行ってください。

使われている数値を比較する基準が明確でなく、都合の良い数字が使われている。例1) 4と5では横浜市と大阪府を比較。何故、大阪市でないのか。例2) 10の税金は額のみでなく、何に使われているのか比較が必要。必要が違えば差があるのは当然。

危機感をあおり、計画はバラ色と言った内容であった。依存症の費用はカジノ業者が全額負担すべきです。カジノに頼らず、財源に見合った市政を行うべきです。市長の答えは明解ではない。質問に簡潔に答えていない。

治安や依存症の対策をしなくてはならない様な事業等いらない！将来の数字は期待論であり、現実の数字への具体性に欠ける。そうならないときはどう責任を取るか？この説明会は一方向的説明会をやったという実績作りだけ。実施すること前提の説明会。

世界的な人口動態研究では、中国・韓国の経済成長鈍化のあと、人口減予測が出ている。そうすると、インバウンドの伸びも鈍化していくと思われるので、経済的効果は見込めないと考えます。取らぬタヌキの皮算用にすぎません。市民が遠方からきた親族とともに宿泊可能なホテルも作るとの説明ですが、すでに横浜2世代3世代という家族が増えており、市内に泊まる必要がないケースがほとんどかと思えます。少子化で親族も減っています。

横浜の将来の為に新たな取り組みをすることは良いことと思いますが、その中になぜカジノを取り入れねばならないか。全く分かりません。「横浜市が目指すIRの姿2」の図でカジノ以外の4つで充分です。カジノでいくら収益が上がろうと、それはお金を取られた人がいるからです。大切な横浜のためにカジノはやめてほしいです。計画からカジノをなくせば、対策費用もなくてすむではありませんか。記者会見の後、市長が資料を後ろに投げましたが、それについて「放ったのではない」と弁明しておられました。素直に「イライラして大人げないことをしてしまいごめんなさい。」とおっしゃった方がよかったです。うそはよくないです。

市長の話はウソばかり。はっきりいってガッカリです。税金のムダ使いせずに、政府もきちんとやって欲しい。ムダ使いの税金を全部返してからIRをやるべき！とにかくカジノは要らない！IRスケジュールは国や市長が勝手に決めるべきでない！市民の声をきちんと聞いてからスケジュールを決めるべき。順番が違います。

大阪や名古屋などと数値を比較して現状を示されたが、その背景を十分に考察して方向性を考えるべきである。現状は外国人観光客にとって横浜が魅力的観光地となっていないことを明確に示し、IRをつくれれば人を呼べると思うのは幻想である。このアンケートは、IRに対して肯定的な面のみを問うており、作為的と評価する。説明会（公聴会）は、IR推進・整備法のエビデンスに利用されているようで、気分が悪い。

3- (6) その他ご意見があればご記入ください。

・シンガポールの例を出して、地元企業発注が9割から横浜市内企業への発注が促進されるとするが、狭い日本で各地の名産など直接取引するのが当然です。絵に画いたモチと思います。・他のギャンブル場をみたことがあるか？酔っ払いが床にすわり、治安も悪い。先にそっちの対策が先ではないか。・説明会の開催＝市民の同意ではない。きちんと民意を問うべきだ（先の選挙で態度を明確にしておけば、こんな説明会は不用だったはず）・依存症対策に保険料を使わないで欲しい。好きでギャンブルするのだから。

市長はエンターテイメント等リゾートのイメージを強調されているが、横浜市は、みなとみらいホール、県立音楽堂、神奈川芸術ホール、県民ホール等、施設があり、桜木町周辺では大型ホテルが次々と建っています。これ以上必要ですか。横浜市民の減少は横浜の行政に魅力がないので、若い人が移住してしまっている。そちらの行政に力を入れて欲しい。カジノなしの行政です。

健全な市財政を考えることが第一と思います。進め方③カジノは子供達に残していく財産ではない。中小企業が成り立たなくなるのでは？リスクに対する経費が膨大になること。監視社会になることが分った。横浜市の財政が増えるのでは？

重々しい雰囲気でした。少し怖かったですね。今後税収が減るのは分かります。IRに頼らなくてもいい施策を考えていってはいかがでしょうか。市民がこんなに反対するのにどうして進めようとするのですか。横浜市は反対されたら行わないと聞いています。大きい問題にしないと聞いています。もし、完成したら、市長方々はカジノに行きますか。住民投票をして、賛成が多かったら堂々と開催してはいかがでしょう。

市長は夢を見すぎ。現実にIRでの失敗で大赤字を出した際に責任を取って辞任するだけでは済まされない。未来に負債を残さないのならば、未来将来大人になる今の青少年の意見を収集する機会も設けるべき。是非青少年の話し合いの場を実現して欲しい。説明会ですでにHPや広報よこはま等で知り得る情報以外の説明を含めることを期待する。全ての区の会で全く同じ説明となることに必要以上にこだわらなくてよい。

市長のお話（質問への答え）が少し長かったです。一つ一つの質問にお答えいただきありがとうございました。今日会場に来て感じたのはカジノのイメージというのは根強く全ての方を納得させるのは困難そうだということです。私は絶対反対というわけではないのですが、もう少し市民の方々の不安の内容を掘り下げて”対立”ではなく一緒に考えていければ（理想論かもしれませんが）良いなと思いました。お疲れ様でした！